

2024年JAF四国ジムカーナ選手権第6戦

2024年JMRC全国オールスター選抜ジムカーナ第6戦

POTENZA CUP '24SKMC スラロームアタック No47

主催：スポーツ・カンセツ・モータースクラブ（SKMC）

開催日：令和6年8月25日

場所：モーターランド たちかわ

レポート：JMRC四国 広報部会

R3クラスは高芝大輔選手が優勝！初のシリーズチャンピオン獲得

R4クラスは山下和実選手が2位ながらもチャンピオン決定

BSC1クラスは窪田竜三選手が優勝でチャンピオン決定

JAF四国ジムカーナ選手権のラスト前となる第6戦、POTENZA CUP '24 SKMC スラロームアタック No47がモーターランドたちかわで開催された。近年では最多となる58名のエントリーがあり、熱い戦いが繰り広げられた。R1クラスは福田和秀選手が第1ヒートをリード。第2ヒートは更にタイムを縮めて3勝目をマーク。今回は4戦目の出場で、有効（5戦）に届いていない福田選手は今回2位に終わったシリーズリーダーの乃一智久選手に2ポイント差に迫り、最終戦はポイントが単純に加算されることからシリーズ争いを圧倒的に有利な状況とした。R2クラスは第1ヒートトップタイムの有岡大輔選手がそのまま逃げ切って初優勝。西尾史巧選手が嬉しい2位。そして、土居清明選手が3位と続いたが、土居選手が今回で有効が埋まったこともありシリーズリーダーに浮上。前戦までで既に3勝している土居選手がチャンピオン争いを大きくリードすることとなった。R3クラスは第1ヒートでリードを奪った高芝大輔選手が第2ヒートはパイロンペナルティで沈むも第1ヒートのタイムで逃げ切って優勝。シーズン4勝目をあげ、初のシリーズチャンピオンを決めた。R4クラスの第1ヒートはシリーズチャンピオンに王手をかけている山下和実選手がリード。このまま逃げ切って気持ちよく優勝でチャンピオンを決めたところだったが、第2ヒートに入ると近畿から参加の北村健選手が山下選手の第1ヒートのタイムを上回り、ベストタイム更新。続く西川佳廣選手も北村選手には届かなかったものの山下選手のタイムを上回り2位に割って入る。ラストセツケンの山下選手もタイムアップを果たし、西川選手はかわしたものの北村選手のタイムに届かず優勝は北村選手の手。山下選手は2位ながらも追いかける瀧本恭之選手が4位であったため山下選手のシリーズチャンピオンが決まった。PNクラスには第4戦でチャンピオン徳永秀典選手を抑えて優勝した天満清選手が登場。天満選手は、他の選手を圧倒するタイムを2本揃えて見事な優勝を飾った。一方、徳永選手は気合が空回り。両ヒートとも2本ずつのパイロンペナルティで下位に沈んだ。BSC1クラスはシリーズリーダーの窪田竜三選手が第1ヒートからきちんと走って優勝。追いかける田中康一選手が4位に終わったことから窪田選手のシリーズチャンピオンが決定した。



R1クラス優勝の福田和秀選手



R1クラス2位の乃一智久選手



R 2 クラス優勝の有岡大輔選手



R 2 クラス 2 位の西岡史巧選手



R 2 クラス 3 位の土居清明選手



R 2 クラス 4 位の西村誠選手



R 3 クラス優勝の高芝大輔選手



R 3 クラス 2 位の山崎聡一選手



R 3 クラス 3 位の中村寛選手



R 3 クラス 4 位の北上宰選手



R 4 クラス 優勝の北村健選手



R 4 クラス 2 位の山下和実選手



R 4 クラス 3 位の西川佳廣選手



R 4 クラス 4 位の瀧本恭之選手



PNクラス優勝の天満清選手



PNクラス2位の金森峰史選手



PNクラス3位の田北一賀選手



PNクラス4位の内田憲作選手



BSC1クラス優勝の窪田竜三選手



BSC1クラス2位のの右城義文選手



BSC1クラス3位の下川和大選手



A Tクラス優勝の鎌田孝選手



CLクラス優勝の西森実選手



マーシャル走行に登場の細木智矢選手



R1クラス入賞者



R2クラス入賞者



R3 クラス入賞者



R4 クラス入賞者



PNクラス入賞者



BSC1クラス入賞者



ATクラス入賞者
(選手権対象外)



CLクラス入賞者
(選手権対象外)